

バトル部 VS プラモ部

部員を賭けた肉弾戦

基本CG 17枚

差分 52枚

合計 69枚

~~トライ
ファイターズ~~

いやっ…
アナタたちっ…
離してっ!!

グッ

ホシノ先輩
そんなに焦らないで
くださいよお

ふざけないでっ
ミヤガ先輩っ!!
どういうつもり
ですかっ!!

ホシノ君…
君が選手権に出る為に
人数を集めてるみたいだからね

我がプラモ部が
協力してあげよう
と思ってね

協力って…
それならこれは
何のつもりですかっ!!

ああ…
それはちゃんと話を
聞いて貰おうと思ってね



実際に簡単な話さ
我がプラモ部とバトルをして
君が勝ったら好きな部員を
使ってくれてかまわないよ

えっ!?!
本当ですかっ
ミヤガ先輩?

ああ...本当だとも
さあホシノ君
どうする?

わっ わかりました
受けますっ!!!

きっとそう言ってくれると
思っていたよ……

やるならはやくして
くださいっ！

誰から相手をするか
選ばせてあげようじゃないか

それならミヤガ先輩
あなたからよっ！！

あっはっはっ
嬉しいね……
僕をご指名とは……

君っ

はっっ

きゃあっ……！
何するの……
離してっ……！

おおっ……
さすがはホシノ君……
僕の目に狂いは
なかったみたいだ……

やめてっ……！
やめてっ……！
私バトルを
したいんですっ……！



フンッ
何を言ってるんだい？
バトルならちゃんとするわっ
生身でねっ！！

なっ
何言ってる…

どうやらホシノ君は
まだスタンバイ
出来ていないようだね
君…少し手伝って
あげるといい…

へへへ…
それじゃあ
お言葉に甘えて

あっ…いやっ…
気色悪いっ…

わがが

ヌ

グッ

それじゃあ
お望み通り
僕から相手をしよう

ひっ…
なっ…なによ
これ…

いやあゝ
喜んでくれてる
みたいで嬉しいよ

だっ誰が!?!
私…帰りますっ!



おっと・・・
もうバトルは始まってるとんだ・・・
決着がつくまで帰れる訳
ないじゃないか
ホシノ君？

こんな卑劣なバトル
する訳ないでしょ・・・
きやあ！！

人間が悪いこと
言わないで欲しいね



ほおくらっ
ホシノ君：…
君もバトルしたく
なってきただろお？

いやっ…やだあ…
きっ汚いのよっ
このっカマキリ男！！

せっ先輩に向かって
その口の利き方は
頂けないなあ…

ひっ…
ほっ本当の「」とでしょ…

あっ…
んんぐ…

どうだい？ホシノ君…
僕のチンポは？

いぎぎっ…！
やだっ動かないで…
裂けちゃう…

ズブッ

んん

何を言っているのかな？
君の望んだバトルじゃないか？

ちっちがっ
んあああっ…！

フンツ：元はといえば
君が僕の好意を無に
したのが悪いんだよ

勝手なことっ…
言わないで…
こんなやり方…
卑劣よっ！！

いつまで大口を叩いて
いられるか見物だね…

ちよ…
そんな汚いの…
あっ…んぐっ！！



僕が手取り足取り
教えてあげよう
じっくり・・・
ねっとりねえ・・・

あぐっ・・・
だっ誰があなたみたい
人にぎぎっ・・・んああ

ああ・・・
君のマンコは
僕のチンポの入部を
歓迎してくれてる
ようだが？



あなたが…
無理矢理私の中に
入ってきてる
だけじゃない…

フンツ…
ムリしちゃって…
まあそういう意固地な
ところも魅力的なんだけどねえ



気持ち悪いーと
ばっか：：言わないで：：

気持ち：悪い：？
やはり僕の愛液を
たっぷり注ぎ込んで
あげないと君には
伝わらないようだね：：

んあつ：：
いっ痛いっ！！
動かないでえ：：



んんゝ
ふっ…ふっ…
ほおら…出るぞお
しっかり受け止めて
くれよお？

あ…んああ…
いっ…やあ…
だめ…はやく…

んおお…
んふっ…ふっ
ほおおっ！



ちよっ・・・ちよっよ・・・
まさか・・・中に・・・
出したの？

人間きが悪いなあ
事前にちゃんと
言ったじゃないか？

ちよっ・・・やだ・・・
えっ・・・

ああ・・・
ホシノフミナ・・・
僕の子を
孕むんだよ？



ミヤガ先輩、いきなり中出しっすか？
最後にしてくださいよお

ん？
ああ・・・すまない

仕方ないっすね・・・
じゃあ俺はフェラにしときますよ

ほらホシノ
啜えろよ

んぐぐっ

ガクッ

グッ

おいおい
何やってんだよ？
もっとしむしやぶり
つけよ

んぶっ
調子に乗らないでっ……

ああ？

グッ

グッ

グッ



何だって?おい!?
調子に乗ってんは
お前だろ

んぐっ...

「ううやって
しゃぶるんだよ!」

おえっ
んん:



エロい体しやがってよお
お前と同じクラスになってから
ずっとこうしたかったんだぜ？

んぐっ

あなた…なんか
知らないわよ…

…
くっ…
クソツタレがああ…

んんっ

ズンッ

ズンッ

ズンッ

ズンッ

おぐ…
ごめんな…
んぐぐ…

もういい…
お前は黙ってる…

ん…
ん…

くそっ…
くそっ…



おい…くっ
出すぞっ…

全部飲み込めよ
この肉便器がっ！

ん…
んぎゅ…んぎゅ…

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

大丈夫ですか？
ホシノ先輩？

ひっく…
あ：ありがとうございます
ええ…大丈夫って訳じゃ
ないけど…

それならよかった…
まだ後がつかえてる
んですから…

えっ…？
ちよ…待って
んああ！

ガッ

アッ

グッ

あぁっ…先輩のマンコ
凄いですよ…うっ…
僕のチンポに絡み付いてきて…

あっあん…
やっやめてよっ…

じっくりやるより
激しいほうが
好みでしたか？

ちっ違うっ
そうじゃなくてええ

ガッ

アッ

ガッガッ

いやあくこんなバトル
だったら部に残って
ましたよお

ふっ…ふざけないでっ
こんなのバトルなんて
言わない…
ひあ…あぐ…

おおっ…
怖い怖い…
アンアン言ってるほうが
可愛いですよ
先輩は…

ガッ

アッ

アッ

アッ

くっあはっ…
いっ痛…
そんなに乱暴に
しないで…

あゝすいません…
じゃあ痛くならないように
僕の精子も入れときますね

くああっ…
あっ…
だ…駄目ええ!

ガッ

めい

アッ



駄目って
言ったのにいい……

これでこの後も
少しは楽になるし
いいじゃないですか

もう……
嫌っ！

ガッ
ガッ

アッ

ガッ
ガッ

ガッ
ガッ





おお？
さすがは部長さんだ
飲み込みが早いじゃねえか
一人で練習でもしてたのか？

そっそんな訳
ないでしょ…

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

マンコのほうも
すんなり入るわりに
ぐいぐい吸い付いて
くるしなあ……

いい肉便器に
なりそうだぜ？

につ肉便器って……
ぶぼっ！！



怒ることないだろ？
褒めてるんだぜ？

そうそう
うっ…!!
こんなにすぐ
イけるマンコは
初めてだしなあ

んぶっ…
はっはあ？



どうせ今日の間
に
孕むんだから
焦ることないだろ？

まあ：
誰のを孕むかは
知らねえけどなあ



ああ：ホシノさん…
僕：今日のこと
わかってたのに
教えられなくて
ごめん…

あっあなた…
私に告白して
くれた人よね…？

好きだよっ
でも…付き合えないなら
せめて…
一回くらいやりたいじゃないか

ホシノさんだって
好意を持たれてる
相手のほうが
いいでしょ？

あっ…んぐっ
それは
そうだけど…



わかってくれて
嬉しいよ…

僕が：一番
ホシノさんを
好きなんだっ！

ちやんと僕のも
受け止めてよ？
ホシノさああん

はっああん…
いやっ
ビクビクしてる…



まったく…
最近の若者は
見ておれんな…

ラ…ラルさん!?!
助けて…
うああっ!

お前たち…
よく見ておくがいい…



あつ……んあ
ラルさんっ

おおっ！
なんか気持ち
よさげだ……

ふっふっふっ
年季が違うのだよ
……くっ……
年季がああっ

アス

グッ

グッ



ああ：だめえ：
やだ：声が：
あっあん

ココを擦られるのが
好みのだようだなっ
ふんっふんっ……

ひああっ

おお……
さすがはラルさんだ



まっ待って……
今は……まだ……
ユ……ユウ君……!?!?

安心していいですよ
僕のチンポで
もっと気持ちよく
してあげますから

そうじゃなくて……
どっどっど
いじり……



それは…
言う必要は
ないですっ

まっまだ…
ふああ…
ユウ君…んああっ



気に入って
貰えたみたいで
嬉しいよ……

くっ……ああ……
だめっ！また
おかしくなっちゃ……
あつくああん！！

ああ……
僕もフミちゃんの
中に住すよっ





おいおい

浸ってるよ

悪いけどよ...

まだバトルは

終わってないんだぜ？

ガッ

え

やっやめて...
ユウ君で最後に
...あああ

アハハ

ははっ

まだ嫌がる元気が
残ってるみたいだなあ

俺は嫌がってる女を
犯してるほうが
興奮するんだよなあ

あぐっ…くっ…
この変態…





ああ…いいぜ…
もっと罵って
くれよお…

俺の精子を
お前の糞マンコに
たっぷり注いで
やるからよお…
ヒヒヒッ

あ…んぐっ
誰があなたみたい
な人に…あう…

ガッ

え

アッ

ガッ

もう・・・やだっ
ひっく・・・?
先生?

おや?
ホシノ・・・
先生のチンポが
欲しくなったのか?

ちっ
ちがっ...

ははは
何も言わなくても
わかってるよ

しかし・・・先生を誘って
くれないなんて
寂しいじゃないか

あっ・・・
んぐう・・・
先生・・・

ああ・・・そうか
今から先生を呼びに
くるつもりだったんだな？
そうだろうか？



ホシノの気持ちには
気付いてたからなあ

な・何言って
ああっ！

うんうん
ホシノみたいな生徒と
エッチ出来るなんて
教師になったかいが
あったてものだ



いやあくホシノ君
この人数相手に
頑張ったじゃないか

はっ…はあ…
そ…それじゃあ…
私の勝ちって…
こと…ね？

何を言っ
てるんだい？

ア

ア

あなたたちの
相手はもう
終わったんでしょ？

あっはっはっ…
たった一度バトルを
したくらいで
終わるとでも
思ってたのかい？

そんな訳ないだろう？
ほら早く初めようじゃ
ないか：ホシノ君

ビーン

ズズズ

グググ

んぐっ……
そんなこと
聞いてない……

ホシノ君？
君はガンダムビルダー
なんだろう？

そっそう……
うぐっ

ならば……
バトルを挑まれたのなら
受けて立つべきだろう？

くっ……
そっそれは……



それに身をもって
わかっただろろう？

一生懸命作った
作品を戦わせて
負ければ壊れてしまう
様な競技はナンセンス
だということをして…

ちっ違うっ
私はただ…
んぎいっ



あぐっ…
もう壊れちゃおう
んぎぎっ

安心したまえ
僕たちはプラモ部だ
バトルを楽しみながら
ホシノフミナという
作品を完成させて
あげよう

だっだめ…
本当に…もう…

大したことはないさ
もし仮に壊れて
しまったとしても
僕が治してあげるさっ

ああ…
許して下さい…
ミヤガ先輩っ



お願いだから
もうやめて…

ホシノ君…
泣いたからといって
ここでやめる訳
ないだろうか？

君とのバトルは
胸が躍るほど
楽しいよ



あああああ〜痛いっ
もう…イってるっ
イってるからああ

くっ…
あああ
イクぞおお

しっかり味わって
くれよおお
んぐぐ

んぐぐ

んぐぐ

んぐ

んぐ



んはっ…
あっ…イイツ
イっちやう…

おい…
マンコおかしく
なったんじゃねえか？

あはあ…
あなたの臭い精液
頂戴…

ビクッ

ビクッ

仕方がないなあ…
ほらっホシノが
欲しがってる先生の
精液かけてあげるからな

あはっ
あ…臭いのっ
臭い精子…
かけられてるよお

いい感じに
ぐちよぐちよに
なってるな

エロいマンコだな
まだ啜え足りない
なんてなあ

ふざけないでっ！
そっそんな訳
ないでしょ！



...

くっくっくっ
どうした？
いららないんじや
なかったのか？

マンコのほうは
入れられたがってるぞ？

知らないわよっ...



勝手に……んっ
決め付けないで……

ほお？
じゃあこの
エロい音は
なんなんだあ？
気持ちいいんだろ？

素直になった
ほうが楽だぜ？



こんなこと
やめてくれたら
楽になるわよっ……

まったく……
いけない子猫ちゃんだ
まだまだ躰が
足りないようだ……

あんっ
あっやああっ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ



そろそろ
俺のも気持ちよく
してくれよ

わかったから……
手でもいいでしょ？

ああ
かまわないぜ？





え……？
ビクビクしてて
汁が……
すごいけど……

そうそう……
ちゃんとチンポを
見つめながら……
ああ……いい……
どんな感じだ？

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

ほらっ…
しっかりみんなに
見せてやれよ
お前のマンコをよ

あっ…
精子が…
漏れちゃうよお



